ニィハオ 你好 ③

嘉興市（かこう）

▶遊戯をする子供たち

嘉興市の教育

嘉興市にある小学校は1,788校、生徒数20万9,000人、普通中学校は206校、生徒数は11万6,000人です。現在建設中の高等学院が３校あり、中等専門学校は６校です。

科目はほぼ日本と同じで、英語も中学１年生から習い始めます。一部の中学では１年生から日本語を教えるところもあります。

授業中の生徒は熱心で、先生の質問に対し積極的に答えます。

進む一人っ子政策

10億を超える人口の中国は、計画的な出産政策がとられ、都市部では一人っ子が多くなっています。

一人っ子をかわいがるあまり、子供のわがまま、甘えなどが生じ、親の関心事となってきています。

広く楽しまれている卓球

中国で一番普及しているスポーツは卓球で、４・５歳からお年寄りまで気軽に楽しんでいます。卓球中国の強さの秘訣は、この辺にありそうです。

ふるさとの昔話

富士中島の 子育て地蔵

富士の中島に富士川のはんらんで流れ着いたと言われる子育て地蔵があります。今回はこのお地蔵さんの話を、中島下の高井峯雄さん（七十六歳）中島上の鈴木幸雄さん（七十六歳）に語っていただきました。

▶子育て地蔵

流れ着いた地蔵さん

昔、富士の中島にカヤ積み場がありました。昔の家はほとんど麦ワラか草ぶき屋根だったので、人々は富士山のすそ野からカヤを刈り、一ヵ所に積んでおいたのです。

あるとき、富士川がはんらんし、カヤ積み場に八十メートルぐらいのお地蔵さんが流れ着きました。お地蔵さんは長い年月かかって流れ着いたらしく、首がとれていました。

お地蔵さんを見つけた村人は、首のかわりに丸い石を乗せ、社（やしろ）をつくりました。

そして、カヤ積み場の周辺をお地蔵さんの地所にして、その年貢でお祭りを行うようにしました。

子供の神様

ある日、子供ができずに困っている村人が、お地蔵さんに「子宝に恵まれますように」とお参りしました。すると、じきに子供が授かりました。

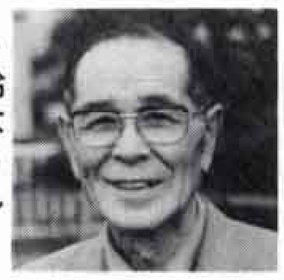
また、子供が弱くて困っていた夫婦は、「子供が丈夫になりますように」とお願いすると、まもなく子供は丈夫になりました。

それからいつの間にか子育て地蔵と呼ばれるようになりました。

にぎやかなお祭り

高井さんは「この話は子供のころ、ひいじいさんから聞きました。お地蔵さんは富士川上流の鰍沢（かじかざわ）から流れてきたようです。昔は今の中島新道町の交差点付近に社がありましたが、昭和五年に現在地へ移し、首もしっかりつくりました。毎年七月二十二日のお祭りには、五十軒ぐらいの露店が出て、身動きできないほどに、にぎやかになります」と話してくれました。

◀高井さん



▶鈴木さん

地名の由来

今宮（いまみや）（神戸地区）

今宮は神戸村、一色村とともに今宮浅間神社の社領村でした。

戦国時代の天文十六年（一五四七）今泉東泉院が、今川義元から五社別当に任命され、同院の寺領村になりました。それは、大納言という院主が、今川氏に功を立てたからでした。

今宮という名は、今宮浅間神社の社領地の中で最も近い農民の集落という意味ではないでしょうか。

こちら編集室

編集室の面々は二月があまり好きではありません。「寒いから？」「ノー。」

二月は二十八日しかないからです。毎月五日号は前月の下旬が原稿締め切り日。ただでさえ嫌な原稿締め切り日が、二月は三日も早くきてしまったのです。うるう年よ早くこい。

発行・富士市役所　富士市永田町１丁目100番地　☎51—0123　人口 218,744人　男 108,527人　女 110,217人
編集・総務部広報広聴課　世帯数 62,373世帯　（２月１日現在）